

バーチャルリアリティー



不動産情報サイトのアットホームが VR 内見サービスを導入したとのニュースがありました。VR とは、バーチャルリアリティーの略称になります。専用のゴーグルを付けてコンピューターによってつくられた仮想的な世界を、あたかも現実世界のように体感できる技術になります。不動産の仕事には案内がつきものですので、非常に相性が良いものとの印象があります。

不動産広告において、15 年位前は、外観の写真と間取り位しか掲載していなかったのが、今や写真 10 枚以上は当たり前で、パノラマ画像が掲載されている物件も少なくありません。それが、さらに進化して VR も当たり前になっていくのでしょうか。2016 年の VR 元年から約 2 年、不動産業界にも新しい波が押し寄せてきました。

報道ベースでは、VR の話をよく聞きますし、体験したいとは思っていたものの、長く何もしてませんでした。私は、プレステーション 4 を持っているのですが、長いこと使用していなく、久しぶりにゲームでも買おうかなと思って、WEB サイトを見ていたら、プレステーションで VR 体験できることを知りました。すごくほしくなってしまう、約 3 週間前になりますが、購入してしまいました。早速、無料体験ソフトをダウンロードし体感しましたが、感動しました。海の中を漂ったり、砂漠に行ったり、また後ろを振り返っても、現実のような景色があります。その中でも感動したのが、スポーツ観戦で NBA、サッカー、ボクシング等を関係者しか入れないような席で観戦出来た事です。ゲーム自体はまだ購入してないのですが、有名なバイオハザードをやりたいような、やりたくないような気持ちです。少し体験版で味わいましたが、リアルすぎて一人でやるにはちょっと怖いかんと思っております。

ただ、難点もあります。映像が少し粗かったり、ゴーグルが大きい、重い等があります。またその中でも一番難点だと思ったのが、動きが激しかったりすると酔ってしまう事です。人によっては、普通の激しくない映像でも酔う可能性があると思います。しかしながら、今後更に技術革新が進むのは目に見えています。そのあたりを克服すれば、VR で海の中に入ったり、旅行に行ったり、お部屋の中を見ろという事が、より手軽に出来るようになりますし、更に現実感が増すと思われれます。

昨今のテクノロジーの発展は目覚ましいです。ややもすれば置いていかれます。それでもいいという考えもありますし、個人レベルでは自由だと思えます。私自身も、どちらかというアナログ人間です。しかしながら、会社という事になると違います。お客様は、より便利なものを求めています。自分では出来ないから、お金という対価を支払って、モノやサービスを買うわけであります。また、既存のモノ、サービスは、すぐに飽きられます。スマホの普及なんかは、本当にあっという間でした。弊社としても、お客様に飽きられる事のないよう、サービスをより進化させていかなければならないと思っております。

塩田了文